

第152回 日商簿記検定試験 2級 一商業簿記一

解 説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問 仕訳問題

1. 売買目的有価証券の売却

- (1) 売却帳簿価額： $\text{¥}1,000,000 \times @ \text{¥}98.80 \text{ (帳簿単価)} \div @ \text{¥}100 = \text{¥}988,000$
- (2) 売却価額： $\text{¥}1,000,000 \times @ \text{¥}98.90 \text{ (売却単価)} \div @ \text{¥}100 = \text{¥}989,000$
- (3) 売却益： $\text{¥}1,000,000 \times \{ \text{「¥}98.90 \text{ (売却単価)} - \text{¥}98.80 \text{ (帳簿単価)} \} \div @ \text{¥}100 = \text{¥}1,000$
- (4) 端数利息： $\text{¥}1,000,000 \times 0.365\% \times 62 \text{ 日 (10月1日～12月1日)} \div 365 \text{ 日} = \text{¥}620$

2. 固定資産の割賦購入

利息は固定資産に計上すべきではないため、現金購入価額(利息を含まない購入価額)で備品勘定を計上する。
ただし、振り出した手形の額面金額には利息が含まれているため、差額を支払利息として計上する。

手形振出額： $\text{¥}150,000 \times 10 \text{ 枚} = \text{¥}1,500,000$

3. 商品保証引当金

- (1) 品質保証期限の経過による引当金の取り崩し

(借)	商品保証引当金	36,000	(貸)	商品保証引当金戻入	36,000
-----	---------	--------	-----	-----------	--------

- (2) 商品保証引当金繰入

(借)	商品保証引当金繰入	185,000	(貸)	商品保証引当金	185,000
-----	-----------	---------	-----	---------	---------

※ $\text{¥}18,500,000 \text{ (売上高)} \times 1\% = \text{¥}185,000$

4. 為替予約

「為替予約による円換算額との差額はすべて当期の損益として処理する」とあるため、当初の買掛金額と為替予約後の買掛金額との差額をすべて為替差損益勘定で処理すればよい。

為替差損益： $\{ \text{¥}108 / \text{ドル (取引日レート)} - \text{¥}110 / \text{ドル (為替予約レート)} \} \times 40,000 \text{ ドル} = \triangle \text{¥}80,000 \text{ (為替差損)}$

5. 株式の発行

- (1) 払込金額 $\text{¥}40,000 \text{ (発行価格)} \times 2,500 \text{ 株} = \text{¥}100,000,000$
- (2) 資本金／資本準備金 $\text{¥}100,000,000 \div 2 = \text{¥}50,000,000$

第2問 現金預金

〔資料Ⅰ〕の当座預金に関する仕訳

- (1) 未呈示小切手は企業側において処理する必要はない。
- (2) 取立依頼を行った段階（3月31日）で、当座預金の増加と受取手形の減少を認識している。しかし、実際には不渡りとなっており、当座預金の増加を修正するため、次のとおり処理する。

(借)	不渡手形	500,000	(貸)	当座預金	500,000
-----	------	---------	-----	------	---------

- (3) 自動引落しは次のとおり処理する。

(借)	通信費	14,000	(貸)	当座預金	14,000
-----	-----	--------	-----	------	--------

小切手振出しの修正

(借)	現金	120,000	(貸)	当座預金	120,000
-----	----	---------	-----	------	---------

〔資料Ⅱ〕の現金に関する仕訳

- (1) 米国ドル紙幣の期末換算

(借)	現金	95,000	(貸)	為替差損益	95,000
-----	----	--------	-----	-------	--------

※ $9,500 \text{ドル} \times 110 \text{ドル(期末レート)} = \text{¥}950,000 \text{(帳簿価額)} = \text{¥}95,000$

- (2) 旅費交通費の仮払い

(借)	仮払金	100,000	(貸)	現金	100,000
-----	-----	---------	-----	----	---------

- (4) 受取配当金の処理

(借)	現金	8,000	(貸)	受取配当金	10,000
(〃)	仮払法人税等	2,000			

第3問 貸借対照表（報告式）の作成

1. 未処理事項

(1) 火災未決算の整理

(借) 未 収 入 金	1,540,000	(貸) 火 災 未 決 算	3,600,000
(〃) 火 災 損 失	2,060,000		

※ 「入金されることが決定したとの連絡が入った」だけであるため、まだ普通預金口座には振り込まれていない。

(2) 売掛金の回収

(借) 現 金 預 金	740,000	(貸) 売 掛 金	740,000
-------------	---------	-----------	---------

2. 決算整理事項等

(1) 売上原価の算定

解説上、仕入勘定で売上原価の算定を行うものとする。

(借) 仕 入	8,400,000	(貸) 繰 越 商 品	8,400,000
(借) 繰 越 商 品	8,900,000	(貸) 仕 入	8,900,000
(借) 棚 卸 減 耗 損	230,000	(貸) 繰 越 商 品	230,000
(借) 商 品 評 価 損	170,000	(貸) 繰 越 商 品	170,000
(借) 仕 入	230,000	(貸) 商 品 評 価 損	230,000
(借) 仕 入	170,000	(貸) 棚 卸 減 耗 損	170,000

(2) 貸倒引当金（売掛金）の設定

(借) 貸 倒 引 当 金 繰 入	80,200	(貸) 貸 倒 引 当 金	80,200
-------------------	--------	---------------	--------

※ $\text{¥}9,220,000(\text{売掛金残高}) \times 1\% - \text{¥}12,000(\text{整理前T/B}) = \text{¥}80,200$

※ 売掛金残高は、上記1未処理事項によって変動している点に注意する。

(3) 減価償却

① 建物

(借) 減 価 償 却 費	500,000	(貸) 建物減価償却累計額	500,000
---------------	---------	---------------	---------

※ $\text{¥}15,000,000(\text{整理前T/B建物}) \div 30\text{年}(\text{耐用年数}) = \text{¥}500,000$

② 備品

(借) 減 価 償 却 費	1,200,000	(貸) 備品減価償却累計額	1,200,000
---------------	-----------	---------------	-----------

※ $\text{¥}7,200,000(\text{整理前T/B備品}) \div 6\text{年}(\text{耐用年数}) = \text{¥}1,200,000$

③ 備品の減価償却費に係る税効果会計

(借) 繰 延 税 金 資 産	75,000	(貸) 法 人 税 等 調 整 額	75,000
-----------------	--------	-------------------	--------

※ 減価償却損金算入限度額： $\text{¥}7,200,000(\text{整理前T/B備品}) \div 8\text{年}(\text{税務上の耐用年数}) = \text{¥}900,000$

※ 繰延税金資産： $\{\text{¥}1,200,000(\text{会計上の減価償却費}) - \text{¥}900,000(\text{限度額})\} \times 25\%(\text{実効税率}) = \text{¥}75,000$

(4) 消費税の整理

(借) 仮 受 消 費 税	7,280,000	(貸) 仮 払 消 費 税	6,064,000
		(〃) 未 払 消 費 税	1,216,000

(5) 貸倒引当金（長期貸付金）の設定

① 貸倒引当金

(借) 貸 倒 引 当 金 繰 入	450,000	(貸) 貸 倒 引 当 金	450,000
-------------------	---------	---------------	---------

※ $\text{¥}3,000,000(\text{売掛金残高}) \times 15\% = \text{¥}450,000$

② 貸倒引当金に係る税効果会計

(借) 繰延税金資産	112,500	(貸) 法人税等調整額	112,500
------------	---------	-------------	---------

※ $\text{¥}450,000(\text{貸倒引当金繰入}) \times 25\%(\text{実効税率}) = \text{¥}112,500$

(6) その他有価証券の時価評価

① 洗替処理

(借) その他有価証券	100,000	(貸) その他有価証券評価差額金	75,000
		(〃) 繰延税金資産	25,000

※ 整理前T/Bに残っている評価差額金(評価差額の75%)と、それに伴う繰延税金資産(評価差額の25%)を対象に洗替処理する。

② 時価評価

(借) その他有価証券	800,000	(貸) その他有価証券評価差額金	600,000
		(〃) 繰延税金負債	200,000

※ 評価差額 $\text{¥}7,700,000(\text{期末時価}) - \text{¥}6,800,000(\text{洗替処理後のその他有価証券}) = \text{¥}800,000$

※ 評価差額金： $\text{¥}800,000(\text{評価差額}) \times 25\% = \text{¥}200,000$

※ 繰延税金負債： $\text{¥}800,000(\text{評価差額}) \times 75\% = \text{¥}600,000$

※ その他有価証券は、貸借対照表上「投資有価証券」として表示する。

(7) 法人税、住民税及び事業税の計上

(借) 法人税、住民税及び事業税	2,054,000	(貸) 仮払法人税等	720,000
		(〃) 未払法人税等	1,334,000

※ 法人税、住民税及び事業税： $\text{¥}2,054,000(\text{納税額}) - \text{¥}720,000(\text{整理前T/B仮払法人税等}) = \text{¥}1,334,000$

(8) 税効果会計(繰延税金資産と繰延税金負債の相殺)

※ 勘定記入上の仕訳は必要ないが、繰延税金資産と繰延税金負債は貸借対照表上、相殺した金額を記載する必要がある。相殺した金額は、固定資産(投資その他の資産)または固定負債に表示する。

3. 損益計算書(参考)

損益計算書			
鹿児島商会		自20X8年4月1日 至20X9年3月31日	(単位：円)
売上原価	67,400,000	売上	91,000,000
給料	11,748,000	受取利息及び受取配当金	300,000
販売費	900,000		
貸倒引当金繰入(売掛金)	80,200		
減価償却費	2,000,000		
貸倒引当金繰入(貸付金)	450,000		
火災損失	2,060,000		
法人税、住民税及び事業税	2,054,000		
法人税等調整額	△ 187,500		
当期純利益	4,795,300		
	91,300,000		91,300,000

※ 整理前T/Bに減価償却費 $\text{¥}300,000$ が計上されている点に留意する。